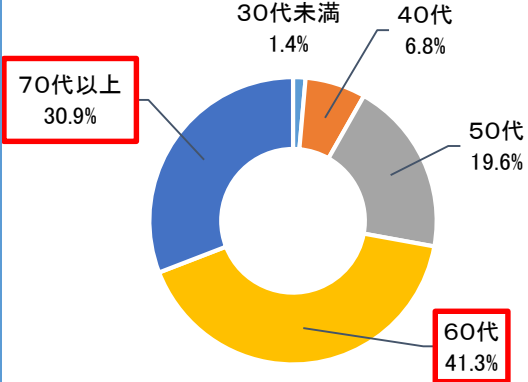


空家等建物意向アンケート調査結果

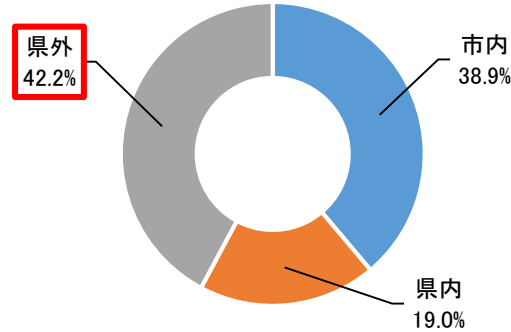
空き家対策の一環として、所有者等に空き家となった理由や管理頻度、利活用の意向等についてアンケート調査を令和元年7月1日から同年10月31日まで実施しました。（送付数：1,338件 回答数：621件 回答率：46%）

◎アンケート回答者の70%以上が60歳以上、40%以上が県外に居住

①回答者の年齢

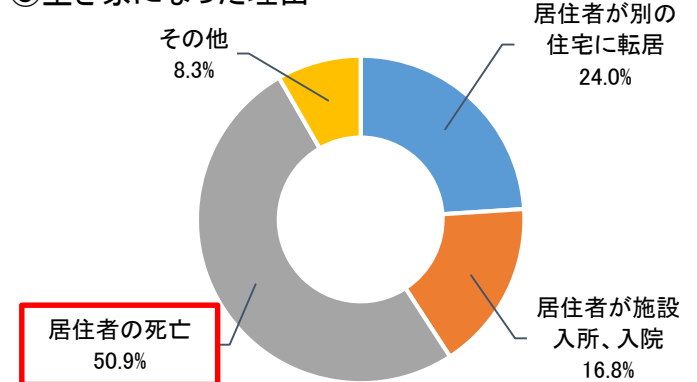


②回答者の居住地



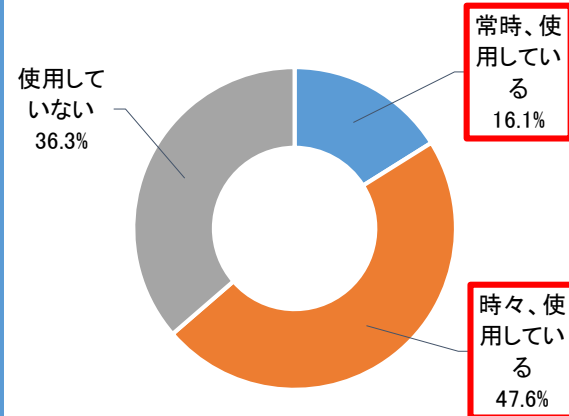
◎居住者の死亡により空き家となるケースが50%

⑤空き家になった理由

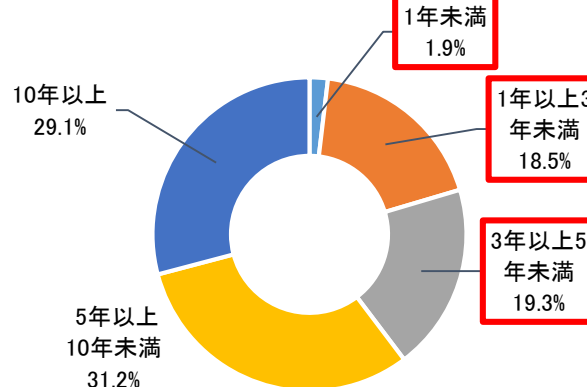


◎使用しているとの回答が63%、空き家になって5年以上との回答が60%

③空き家の使用実態

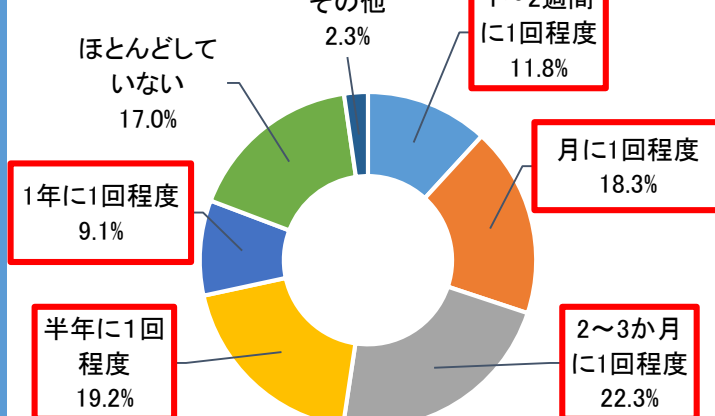


④空き家の期間



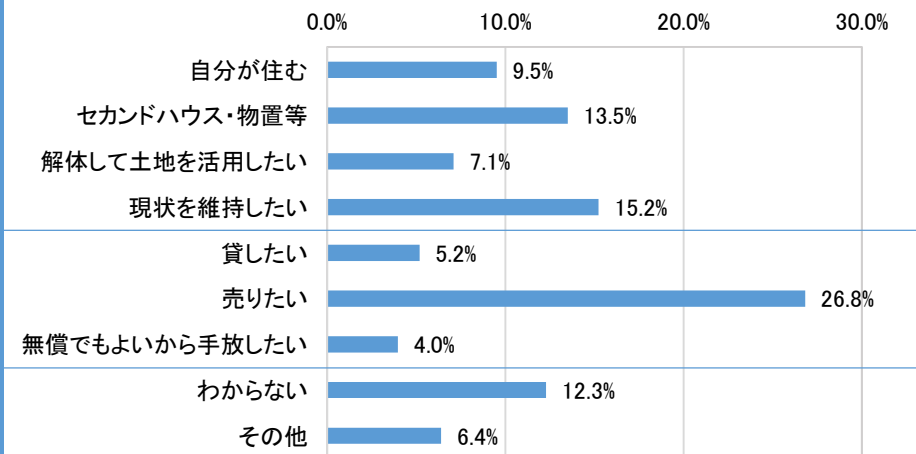
◎年に1回以上管理しているとの回答が80%

⑥管理頻度



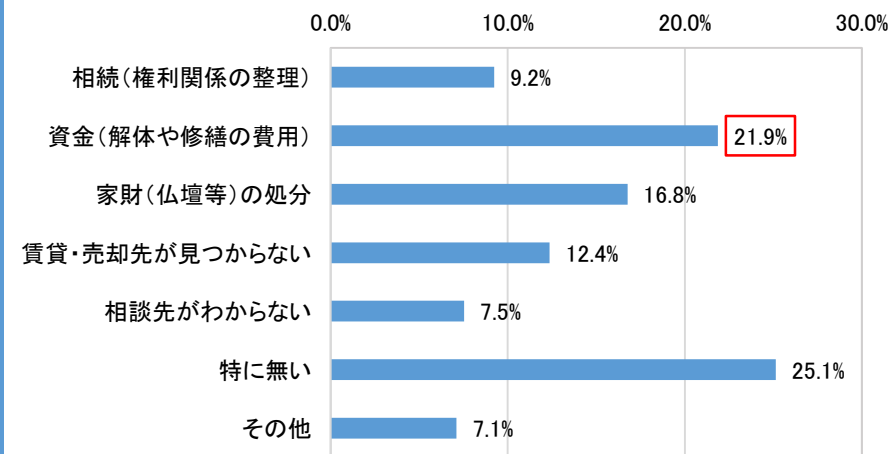
◎自ら使うまたは現状維持の回答が45%
 売りたい、貸したい、手放したいの回答が36%

⑦活用の意向



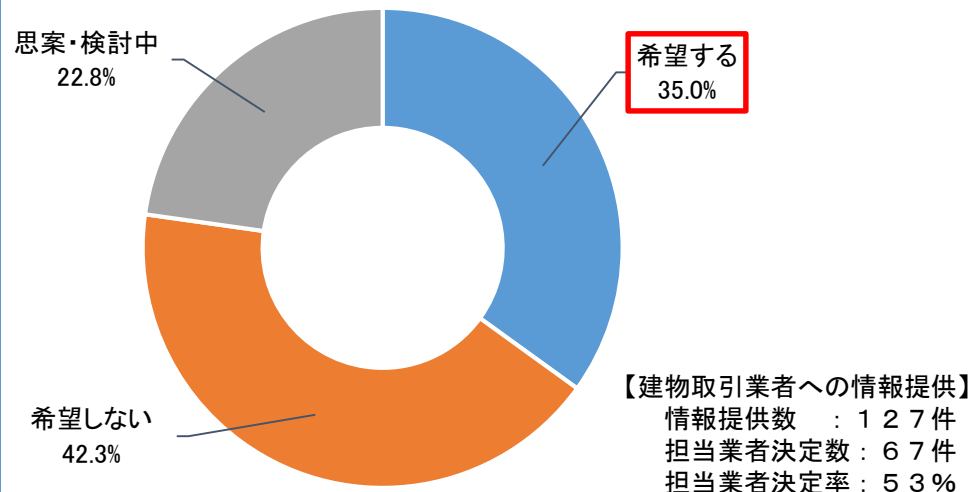
◎解体費や修繕費等の資金に課題があるとの回答が21%

⑧活用の課題



◎建物取引業者等の紹介を希望する所有者等が35%

⑨建物取引業者への紹介



◎空き家施策に関する意見・要望について

- ・相談先が出来たようなのでうれしい。今後は相談に乗ってもらいたい。
- ・有効活用できる方法や有益な情報があれば、知らせてほしい。
- ・市で買い取ってほしい。もしくは市に寄付したい。
- ・解体すると固定資産税が高くなるため、税の優遇措置等が欲しい。
- ・解体費用を助成する制度が欲しい。
- ・市街化調整区域で解体すると新築できないため、緩和施策が欲しい。
- ・家財等で活用できそうなものは市で収集し、活用してもらいたい。
- ・接道がないため、不動産業者に相談しても売れない。
- ・空き巣が心配なので、警察等に情報提供し、時々見回ってもらいたい。